

## 国の海洋プラスチックごみ対策アクションプランに対する中野市の対応について(案)

令和元年6月に軽井沢で開催された日米欧と新興国の20カ国・地域(G20)エネルギー・環境関係閣僚会合において、海洋プラスチックごみ削減に向けた初の国際枠組みの構築に合意し、海洋プラごみが削減が問題となっている中、国では、プラスチックの資源循環を総合的に推進するための方向性を取りまとめた「プラスチック資源循環戦略」及び海洋プラスチックごみ対策に係る我が国の具体的な対策を取りまとめた「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定(令和元年5月31日付け環境省事務連絡)されたことから、中野市においても国のアクションプランをもとに、お金をかけない、新たなごみを発生させない、ポイ捨てをなくす、事業を実施し、ごみのポイ捨てゼロを目指し、海洋プラごみ削減事業につなげたい。

### 1 国のアクションプランの(2)ポイ捨て・不法投棄・非意図的な海洋流出物の防止について

○現在中野市で行っているゴミのポイ捨て・不法投棄による海洋流出物の防止事業について

- ① ポイ捨て看板の設置(国道292号線・長丘バイパス)
- ② 公害防止指導員のパトロール(月4回)
- ③ ラフティングによる千曲川の自然観察会(H17～・今年度から拾えるごみは拾う)
- ④ 小学校における環境啓発パネルの展示(今年度から)
- ⑤ 5月30日(ゴミゼロの日)に職員によるポイ捨て状況調査の実施(今年度)
- ⑥ 広報なかのによる啓発活動(令和元年6月号)
- ⑦ 環境課職員による早朝・夜間の不法投棄パトロール

○中野市ごみのポイ捨て等の現状について

・公害防止指導員からの報告による回収(令和元年5月、市内河川水門にポイ捨てゴミ)



【回収したごみ】 ペットボトル、プラ容器等

・令和元年5月30日(ゴミゼロの日)に環境課職員によるポイ捨て状況調査の実施



【回収したごみ】 ・タバコのすいがら・ペットボトル、缶・紙・プラごみ等

○現在中野市で行っているポイ捨て・不法投棄、海洋流出物の防止事業

①ポイ捨て看板の設置

(国道292号線・長丘バイパス)



②公害防止指導員のパトロール

(14名委嘱・各地区1名・月4回パトロール、報告)



③ラフティングによる千曲川の自然観察会

(H17～・今年度から拾えるごみを拾う)



(H30年の実施した写真)

④小学校における環境啓発パネルの展示

(今年度から)



(平野小学校/R1.6.10～14)

⑤5月30日(ゴミゼロの日)に職員によるポイ捨て状況調査の実施(今年度実施)



(長丘バイパスで拾った缶)

⑥広報なかのによる啓発活動

(令和元年6月号、P20)

環境に悪影響を与える「廃棄物(ごみ)の不法投棄」や「違法な野外焼却」のほか、犬のふんの放置、たばこのポイ捨てに関する苦情が増加しています。不法投棄をはじめとするこれらの行為は犯罪です。市では、不法投棄、違法焼却などの防止を目的として、昼夜監視パトロールを強化しています。きれいなまちづくりにご協力ください。

不法投棄および野外焼却の罰則  
個人 5年以下の懲役、1000万円以下の罰金またはこの併科  
法人 3億円以下の罰金

●環境課(内線247)

不法投棄・違法な野外焼却などは犯罪です

⑦環境課職員による早朝・夜間の不法投棄及び違法な野外焼却防止パトロール

- ・年2回夏(6月)と秋(10月)実施します。
- ・夏季の実施期間 令和元年6月10日(月)から13日(木)までの4日間
- ・実施期間 早朝:午前6時30分～午前8時30分  
夜間:午後5時30分～午後7時30分
- ・実施区域 市内

## 2「プラスチックごみ対策アクションプラン」における中野市の事業実施(案)について

上記のように中野市内でも、ゴミのポイ捨てが確認できることから、ゴミのポイ捨ては絶対にしないという意識を持ってもらうよう、現在市で行っている事業の推進及び新たな環境教育啓発推進、ボランティア活動によるゴミ拾い活動を検討し実施したい。

### ○事業実施(案)について

#### ① (仮称) 中野市環境教育啓発推進基金の創設について

当市においてもごみの削減・ポイ捨ての防止に取り組んでいるところではありますが、市内の環境保全等に啓発教育をさらに推進するため(仮称)中野市環境教育啓発推進基金を創設し、市内の小中学生・市民を対象とした事業を展開し、令和元年6月に軽井沢で開催された日米欧と新興国の20カ国・地域(G20)エネルギー・環境関係閣僚会合において、海洋プラスチックごみ削減に向けた初の国際枠組みの構築に合意したことにともない、今まで行われている事業をさらに拡大し環境教育啓発推進に取り組みたい。

・基金(寄付)をお願いする企業等については、中野市内での一般廃棄物、産業廃棄物等に係る事業者、中野市に廃棄物を搬入している市町村、組合等に中野市の環境教育啓発推進基金への寄付を募り、集まった基金を市の環境事業の推進に利用したい。

#### ② 秋にポイ捨て防止対策のため、ゴミゼロ運動・ゴミ拾いの実施

・環境祭が9月下旬の日曜日に開催していたため、環境祭に代わるイベントとして9月～10月の日曜日午前中に実施したい。(ボランティア募集で実施)

・会場 国道292号線(長丘バイパス)、集合予定場所、北信合同庁舎又はカインズホーム

・広報なかの9月号で周知

・2020年4月1日からレジ袋の有料化が検討されていることから、参加者には「マイバック」、又は「マイ買い物かご」を差し上げたい。ただし、基金が予算化できた場合。

#### ③ 資源物回収報奨金の推進について

小学校、中学校で行われています資源回収において、補助金の削減のため平成30年度から補助単価が5円から3円に下げたところですが、この補助金を利用する団体から、補助額が下がってしまうと資源回収をやっても収支のバランスが取れないため、やめてしてしまうということを考えている団体があると聞いています。

小中学生にこの事業を更に推進することにより「捨てればゴミ、回収すれば資源」という考え方を子供たちに浸透することができることから、この事業は継続して実施したい。また、①の基金がある程度集まれば、基金を補助の財源にすることも検討できる。

#### ④ (仮称)環境保全活動賞の実施について

環境保全活動賞を創設し、環境保全に取り組んでいる個人、団体を表彰する。

・例 毎日ゴミ拾いをしている個人がいる。環境保全に貢献していることから表彰したい。

#### ⑤ 海にちなんだ環境講演会の実施

例 さかなクン(東京海洋大学客員准教授)

※講演会講師謝礼100万円必要

※1 今年の広報なかの5月号に「私の提言」を掲載したところ、市民の方からゴミのポイ捨てに関する投稿が2件あったことから事業を実施したい。(添付資料)

※2 軽井沢で行われるG20エネルギー・環境関係閣僚会合の新聞記事(添付資料)

※3 国のアクションプランでは、地域における共通の課題として国民、事業者、民間団体、地方公共団体等のすべての者が当事者意識を持って、それぞれの立場から積極的に取り組むことが必要であり、連携協働を促進する。と記載があることから、次の団体事業者へ協力の要請し、協力金もお願いしたい。

◎ 基金(寄付)を募る企業リスト(案)

○中野市に係る産業廃棄物、一般廃棄物収集処理業者		
○飯山陸送の最終処分場へ搬入・公害防止協定組合、市町村		
○飲料メーカー(市役所内に自販機を置いている事業者) ・ コカ・コーラ                      ・ アサヒ飲料		
○タバコメーカー ・ JT		
○スーパー(日曜回収) ・ 西友中野駅前店                      ・ ユーパレット中野西店                      ・ ツルヤ本木店 ・ 新鮮屋オタギリ                      ・ 原信中野店                                      ・ ベイシア中野店 ・ イオン中野店		
○ホームセンター(日曜回収) ・ カインズホーム		
○コンビニ	セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート	
○国	千曲川河川工事事務所	
○県	地域振興局	

◎廃棄物を飯山陸送への搬入し、公害防止協定を締結している組合、市町村は54件あります。  
 ・ 廃棄物を受け入れることにより搬入組合・市町村と中野市とは公害防止協定を締結しているが、その事務処理等による人件費が必要になり、また、廃棄物を積んだダンプ等が通行することによる市道の摩耗など、その事務費・経費は一般会計から支出されていることから、その分の経費の一部を排出する組合・市町村に寄付金という形で納めてもらってもいいのではないかとの発想から寄付を募るものです。